

## 大野市小中学校再編計画（案）説明会開催結果概要

日 時 令和3年5月28日（金）午後7時40分～9時10分  
場 所 阪谷小学校 体育館  
出席者 阪谷小学校区児童・未就学児保護者13名、阪谷小学校児童1名  
阪谷小学校長、阪谷小学校教職員1名  
教育長、教育委員会事務局長、教育総務課長、学校教育審議監、  
教育総務課職員3名

顛 末

①教育長あいさつ

②大野市小中学校再編計画（案）の説明（資料に基づき説明）

③質疑応答

参加者 送迎で阪谷地区の方はスクールバスに乗るが、今年の冬の1月、豪雪の時に子ども達の安全のため不動堂などは危ないということで、松丸まで出ている。今年も冬になると松丸まで出ようとなっているが、大雪などのスクールバスの対応はどうするのか。まして和泉地区の中学生が陽明中学校まで来るとなると1時間以上かかる。授業に遅れることもあるし、帰る不安などもあるがどのように考えているのか。

市教委 今のお話は地区でないと、なかなか分からない。統合の準備を進めていく中でしっかりと話し合いをして、どういう形がいいのか一緒に考えたい。  
それから、和泉地区の説明会でも冬のことが地区の方だけでなく我々も気になる。それについても、統合を令和6年からと考えているので、中部縦貫自動車道が令和4年度末に開通し、1年間空いているのでしっかりと様子を見ていい方法を考えていきたい。先ほどの心配のところは一緒に考えていきたい。

参加者 富田小学校が終わって、これまで同様放課後子ども教室の会場まで送っていくとなっているが、阪谷公民館まで送っていただけるのか。

市教委 そのように予定している。乾側小学校のケースでも下庄小学校から乾側公民館まで送っている。乾側公民館で放課後子ども教室をして、それぞれ保護者には公民館までお迎えに来ていただいている。阪谷小学校もそのようにしたい。

参加者 学年ごとに下校時間が違うが、学校が終わってその都度スクールバスを走らせるのか。

市教委 低学年と高学年と下校時間を2段階に分けてスクールバスを運行したい。

参加者 まだ説明会があるので、地区との協議がいろいろと残っていると思うが、地区の方の話の中でこれがいいあれがいいと、まとめてからいろいろ揉ん

でから説明があると思うので、それに期待したい。特に今はない。

参加者 体操服の購入と書いてあるが、富田小学校の体操服に替えないといけないのか。統合する時に私の子は小学6年生になる。その時にあと一年間という時に、経費は出ると思うが体操服を替えないといけないのか。

市教委 おっしゃるとおりで勿体ないという思いはある。乾側小学校の例では、下庄小学校側としては前の体操服とズックを使ってもいいですよ、と受け入れをしている。でも子ども達が自分だけ違う体操服をいやだなと思うことがある。1年間だけというところで、6年生は10分の10の全額の補助をしている。

1年生で阪谷小学校の体操服を着て、2年生になった時に富田小学校の体操服になると1年しか使っていないので、2年生の子ども達も全額の補助をしている。後の学年は少し長く着るので半額の補助を乾側小学校の例ではしている。

補助の仕方いろいろと保護者と地域の皆さんと話し合いながら検討していきたい。

参加者 勝手に富田小学校の体操服になると思っているが、それは違うのか。阪谷小学校の体操服にはならないのか。

市教委 人数の多い少ないではないとおっしゃりたい気持ちも分かるが、富田小学校に合わせていただけるとありがたい。

参加者 阪谷小学校の体操服はカッコいいと思っている。他の学校の体操服は昔っぽいと感じている。体操服自体が新調されるとデザインが替わることはあるのか。

市教委 例えば、富田小学校と阪谷小学校と統合になった時、子どもだけでなく2つの小学校のPTAが統合される。今の意見も含めながら準備委員会を設置して、そこで新しい体操服にしようという意見が出て、お互いの合意があれば、そういったことも可能と考えている。

参加者 今のところは替わることはないということか。

市教委 校則もある。例えば制服を着ているが、大野市は市内で制服が統一されている。ある市などは学校によって制服が違うところもある。例えば和泉小学校は私服である。私の学校も制服から私服にしたいと替える時に、それはPTAだと思っている。やはり、保護者の皆さんの合意があって制服から私服に替えることになる。制服の方が選ばなくていい、私服の方がいろいろあっていいなどいろいろな保護者の意見がある。最終的には多数決になるが、皆さんの合意によって決まっていくと思っている。体操服もそのようなことだと思っている。

参加者 ランドセルはどうなるのか。富田は黄色です。

市教委           まさしく乾側小学校と下庄小学校の場合と同じになります。下庄小学校はナップランドで、いわゆるナップサックみたいなランドセルです。富田小学校も同じです。話を聞くとナップランドの方が軽くて値段的にもお得だと言ってナップランドの学校がある。

このことについても体操服と同じ答えになるが、乾側小学校の例で言うと6年生と2年生になる子は全額の補助を、後の学年は半額の補助になる。そのことについても準備委員会で皆さんと協議しながら進めていくことになると思っている。

参加者           統合された時に、中学校も小学校も教員、先生の配置はどうなるのか。子どもによって教員の規定人数を、子ども何人に対して教員1人とか、そういうのを守られるのか。例えば統合するので、教員を少し多く配置するとか、地域の人にボランティアに来てもらって、身の回りのことを見てもらうとか、多人数になった時の先生の数とか、そういうことはどうするのか。

市教委           お話を聞いて「地域の人」という言葉があったが、とてもいいなと思っている。統合していくと地域が広がっていくと感じた。広がって地域の人が学校の中に入って支援いただけることはとても大事なことだと思っている。子ども達も安心すると思っている。

例えば阪谷小学校が富田小学校に統合した時には、阪谷小学校の教員を少なくとも1人は富田小学校に配置して、子ども達が安心して学校生活を送れるようにしたい。統合になると県の教育委員会でも教員の加配で1人多く配置する規準がある。それについては県の教育委員会に強く要望してそういった形をとって子ども達が安心して学校生活を送れるようにしたいと考えている。

参加者           中学校は陽明と尚徳と和泉が統合するが、今の部活動はそれぞれ3校統合したら同じ部門は統合できるが、それぞれの学校にしかない部活動はそのまま継続されるのか。それともその時に集まった生徒の希望によって、また作り変えるのか。

市教委           現状から尚徳中学校は、現在陸上部と男子野球部、女子バスケットボールの3つが運動部としてある。文化部ではカルチャー部と全部で常時活動する部活としては4つある。それに冬になるとアルペンやクロスカントリー、駅伝が近いと駅伝部などがある。

それに対して陽明中学校は、運動部では陸上、野球、男子バレー、女子バレー、男子バスケット、女子バスケット、バトミントン、男子卓球、女子卓球が設置されている。文化部では、吹奏楽部、美術部、自然部という部活動が設置されている。

統合された時に部活動はどうか、統合だけでなく毎年部活動は生徒の希望によって、例えばサッカー一部ですと最低でも11人いないと成り立たないという場合も出てくる。そういった時には生徒と話し合いながら、新しい部活動を作るということも考えられる。

参加者 令和8年度の小学校再編では、前年度に入学される1年生は1年間だけのためにランドセルを購入する。ナップランドよりもランドセルは高い。ランドセルは1年間使うだけなのか。子どもは新しいランドセルをウキウキして選ぶが、その辺りはどのように考えているのか。

市教委 ナップランドは全額補助するがランドセルを1年間だけでは勿体ないと思っている。ランドセルは高額で、お祖父ちゃんお祖母ちゃんがお孫さんに買うのを楽しみにしている方もいると思っている。乾側小学校の例になるが乾側小学校は急な再編になったが、再編しますよと合意された時に、もっと前から準備ができたのではないかとということもあった。

1年生になる時に、統合が分かっている時にはわざわざランドセルを買うことはないと思っている。それも含めていろいろと話をしながら子ども達や保護者の皆さんにとって一番いい形を考えたい。

市教委 私らが予想しきれないことをいっぱいお話しいただきありがたい。一つ一つ確認しながら丁寧に進めたい。

今日の説明会も、説明して理解いただきたいだけでなく皆さんが本当にここをどうするのかと、小さいことに見えるかも分からないが、とても大切なことで、私らが今日ちゃんと受け取って帰って、そして再編計画に明記できることはしていく。あるいは事前にちゃんと相談して進めていく項目もきちんと整理できるので、遠慮せずに今の時点で思っていることを伝えただけであればありがたい。

参加者 阪谷小学校もナップランドで、赤、黄、青、黒、4色で選んでいるが、その内の黄色は富田小学校と同じ鞆か。

参加者 校章が入れば同じです。

参加者 黄色のナップランドにしなければいけないなら、次からの子どもは黄色にした方がいいのかなと思っている。絶対に替えないといけないのか。

今、私の子は小1で赤いナップランドだが、小6になったら黄色に替えないといけないのか。

市教委 その必要は全くないと思っている。そういうことも相談して決めていければいいと思っている。ある期間は富田小学校の色と阪谷小学校の色が混じり合って、卒業するまで続く学年があってもいいのではないかと考えている。

参加者 子どもが気になるなら、初めから黄色がいいです。

- 市教委           買った鞆はそのまま使えばいい。色が混在していてもいいと思っている。これから買う時には揃えた方がいいかもしれない。そういったことを早めに今後、調整していきましょう。まだまだ8年度まで時間があるように思うが、今から準備できることはいくつもあると思っている。
- 参加者           阪谷小学校ではいろいろと自由を認めてもらって、個性を大切にしてもらっている。ナップランドは黄色じゃないと駄目、黄色の帽子をかぶらないといけないとは育てられていない。子どもの個性を尊重してのびのびと育てていただいていることに大変感謝している。そういった特色というのは富田小学校に合わせないといけないと、そこを合わせるのに少し抵抗がある。そういった気持ちを大切にしていただけるとありがたい。
- 市教委           校長が個性を伸ばす教育をしている。統合になったら富田小学校の校風に合わせないといけないということはないと思っている。我々は人数の多い少ないではなくて学校同士の再編、つまりそういった意味では平等と考えている。校風も2つが上手く混ざりあった新しい校風ができていいかもしれない。それぞれの校風のいいところを、いいとこ取りして新しい校風を作っていくのも方法だと思っている。両校の保護者、地域の皆さんの声を聞きながら、進めていきたい。
- 参加者           計画が決まった時に子ども達の声も聞いていただきたい。子ども達の見線でも考えていただきたい。
- 市教委           大人はもちろんだが、子ども達にも話をさせていただきたいと思っている。教育委員会がするか、学校の校長からするかは考えないといけないが、大きな枠組みは大人が責任をもって決める必要がある。中身は子ども達の思いを尊重することはとても大切だと思っている。我々も子ども達にきちんと対応したいと思っている。
- 参加者           乾側小学校が合併した時に、どのような意見があったのか。
- 市教委           乾側小学校は再編が急だったが、乾側小学校の子ども達が下庄小学校に行って一緒に授業を受けたり、給食を食べたこともある。
- 1年間で6回の交流をした。その中で私も様子を見に行った。乾側小学校は人数が少なく1年生は1人で、その子が下庄小学校の1年生の学級に入って勉強している様子を見ると、とても楽しく授業を受けていた。高学年の女の子は少し不安そうだった。実はその交流の時に乾側小学校の先生も一緒に行って、乾側小学校の先生も一緒に授業を受けている。最初は授業を見ているだけが、回数を重ねるうちに乾側小学校の先生も一緒に勉強を教える形でやっていた。そういうことを重ねるうちに少し不安はとれたようだった。5月の中旬にスクールバスに乗って一緒に下庄小学校に行ったが、今はとっても元気にしていた。そして、乾側小学校の子どものお家

に、下庄小学校の子どもが遊びに来てくれて、とてもうれしかったという話も聞いた。ですから今とっても元気に通っている。

④閉会のあいさつ（事務局長）